

災害時も安心して過ごす為の

7つの工夫

充実した備蓄品の数々

- ・保冷庫に玄米を備蓄
- ・缶詰、味噌、パスタ、カレー、乾パン、スナック菓子など
- ・おむつや衛生用品など



玄米保冷庫



食料品



紙おむつ

自家発電機 3台

通常 72 時間分



3 倍の **206** 時間稼働



太陽光 & 蓄電池 & EVカー

蓄電池により太陽光発電の電力を継続的に使用可能
EVカーが出動！



避難所の設置

- ・14世帯が生活できる避難所を常設
- ・プライバシーに配慮された区画
- ・電動ベッド、非常用ベッドも用意
- ・運動設備あり



完全独立型
インフラ設備の数々

井戸水を確保

入居者や職員被災者の飲食用及び、生活用水として



多様なトイレ設備

水洗トイレが使えなくなった時の為に



ラップオンとバイオトイレ (おがくずトイレ)

を合わせて **20** 台準備
マンホールトイレも準備



衛星電話

- ・衛星電話により、携帯電話が使用できない状況でも情報収集及び応援要請が可能

- ・被災地外の家族や知人との連絡などに活用



社会福祉法人 四ツ葉会
特別養護老人ホーム 元気の家